



100歳を迎えた方に褒状と記念品贈呈

9月13日から15日、敬老の日までに100歳を迎えられた長寿の皆さんを宮嶋市長が訪問し、「百寿をお祝いする褒状と記念品の贈呈」を行いました。今年11人が100歳を迎えられ、大正・昭和・平成・令和と、激動の一世紀を歩まれました。長寿の皆さんは、笑顔で宮嶋市長との会話を楽しんでいました。いつまでも健康で元気に過ごされることをお祈りします。



おめでとうございます



●木村コトさん(田伏)
家族も驚くほど丈夫な体の持ち主の木村さん。若い頃は習字をしていて、読み書きが得意と話してくれました。



●井坂守三さん(中佐谷)
早寝早起きと起床後にコーヒーを飲むことが日課の井坂さん。散歩や軽い農作業が、健康の秘訣と教えてくれました。



●宮田みよさん(中志筑)
食欲旺盛だという宮田さん(中央)。市長がお祝いに来てくれて感動されたようです。弟さん(左)も駆けつけてくれました。

図書館の仕事を体験

8月23日から3日間、図書館で、県立霞ヶ浦^{るっ}学校中学部の3年生が「職場体験活動」を行いました。新聞記事スクラップやカウンター業務、書架の整理、本のカバーかけ、おすすめ本の帯やポップの作成などを体験。参加した生徒からは「自分が思っているよりもたくさん仕事があることに気がきました。さらに図書館に行きたくなりました」と感想があり、有意義な職場体験となったようです。



笑いと学びの出前授業「海の落語」

9月11日、あじさい館で、「子ども大学オープンキャンパス」を開催し「海の落語」を実施しました。落語を通じて海の環境問題を学ぶ内容で、落語家の鈴々舎馬^{れいれいしゃま}るこさんが「亀いさん救出大作戦」や「プラスチックごみだらけの竜宮城」などの落語を披露。会場は大きな笑い声に包まれました。また、環境の専門家の井出迫義和^{いでさくよしかず}さんによる解説を交えたトークも盛り上がり、親子で楽しく海の環境問題を考える機会となりました。



いざというときの行動を確認

9月17日、千代田講堂で、千代田地区の区長を対象に「マイ・タイムライン作成前講座」を開催しました。県から講師を招き、大規模な水害や土砂災害に備えるために、各家庭の防災計画を事前に決めておく「マイ・タイムライン」の作成方法を学びました。危機感を持って、真剣な面持ちで講義を受けた参加者の皆さん。各家庭のマイ・タイムラインを作成することで、防災意識の向上や普段から災害に備える大切さを再確認していました。



買い物ついでにマイナンバーカード申請

9月18日、カスミ千代田店で、「マイナンバーカード出張申請サポート」を実施しました。買い物のついでに39人が立ち寄り、職員のサポートを受けながら、カードとマイナポイントを申請しました。利用者からは、「ポイントの申請が難しく、困っていたので、一緒に手続きを進めてもらえて助かりました」「買い物のついでにマイナンバーカードの申請ができるのはとても良いと思います」と感想がありました。



●マイナポイント第2弾の対象となるカードの申請期限が、今年12月末まで延長されました。詳細は、ホームページをご覧ください

自分だけの望遠鏡を手作り

9月18日、歩崎公園で、「科学体験教室」を実施しました。手作り科学館 Exedra^{はむらたが}の羽村太雅館長^{はむらたが}を講師に招き、ガリレオが使ったものと同じ口径40mmの望遠鏡を手作りしました。参加した子どもたちは、慎重に作業を進め、自分だけの望遠鏡を完成させました。「見たいものにピントを合わせるのが難しいけれど、良く見えてびっくりしました」「自分だけの望遠鏡ができて嬉しい。大切にしたいです」と感想がありました。



放課後の校庭で心も体ものびのび

10月3日、下稲吉小学校で、「のびのびアフタースクール」が行われました。この事業は、小学生に放課後の居場所を作るために前年度から開始され、茨城県のモデル事業として先進的に取り組まれています。参加を希望した56人の児童が、ボランティアの「KSCなかよしスポーツクラブ」の協力のもと、「スポーツ鬼ごっこ」を体験。フィールド内に設置されたお宝をゲットするため、のびのびと校庭を駆け回る児童たちの姿が見られました。

